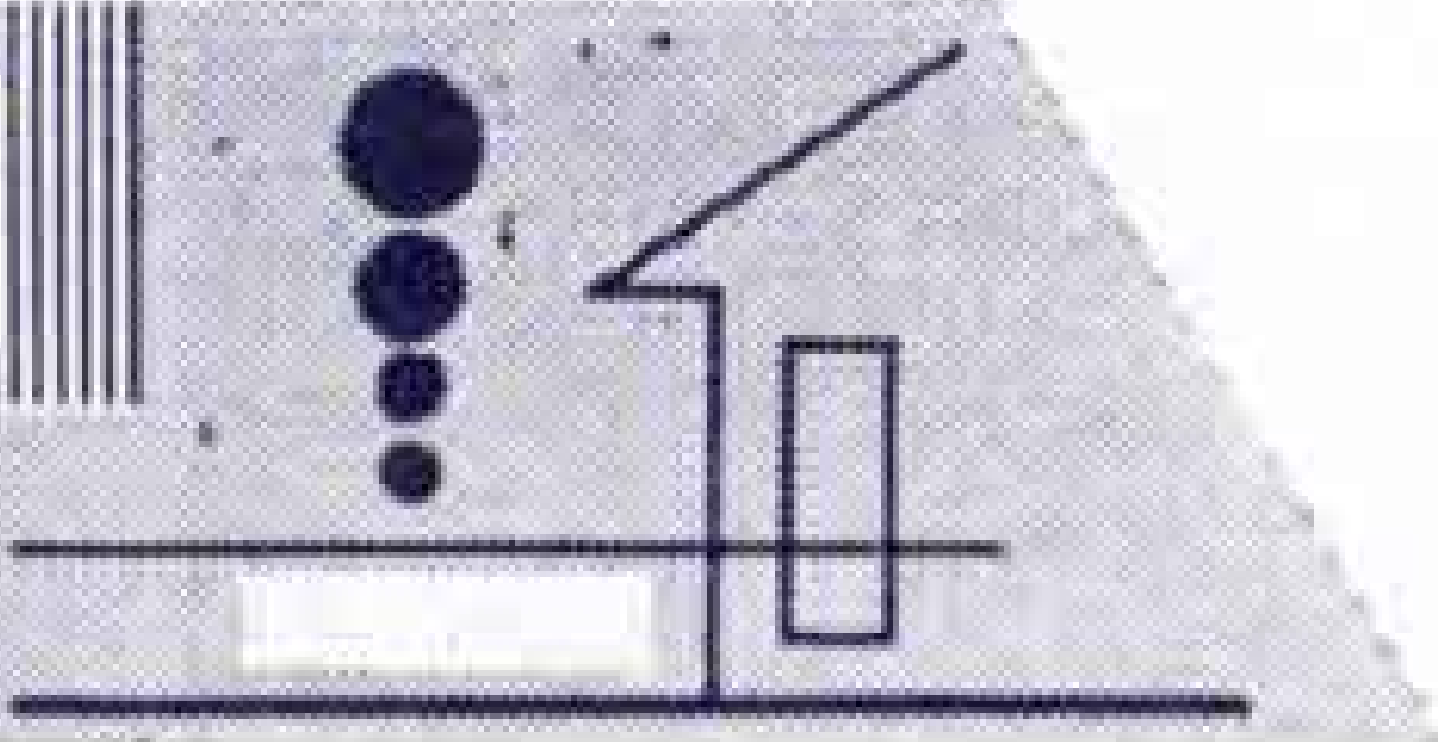


市政モニター提言



公民館を中心にした 社会教育を

地区民待望の今泉公民館が伝法公民館と同時に完成し、喜びは言い知れぬものがあります。すべての地域活動における住みよい社会づくりの拠点として、今後の活用が楽しみです。

また、神戸地区にも建設が計画されているとのこと。恐らく昭和45年以來の短期間に13地区に完成を見る

事は、実に県下はもとより他県にも例のない事でしょう。

地区住民福祉に寄せる市当局の努力に心から感謝と敬意を表わすものであります。何とぞ今後は、この建物を通じ社会教育の推進と行政のパイプ役として、より高度の指導性を持つよう一地区住民として要望致します。(伊藤善隆・今泉2丁目)



【このほど完成した今泉公民館】



緑と花のコーナー

上手な水のあたえ方

草花にうまく水をやれるようになれば1人前の園芸家といわれるほど「水やり」はむずかしいものです。

水やりくらい誰にでも簡単にできている人も多いと思います。ところが、水のやり方のうまい、へたによって生育がよくなったり悪くなったり、ひどい場合は枯れてしまうこともあります。

水が少なすぎて枯れるとはかぎりませ

ん。多すぎて枯れることもあるのです。

なぜ、水やりがむずかしいかというと植物の種類、大きさ、季節、天候、場所で量が違って来るからです。普通1日1回やれば十分ですが、風が強く極端に乾く日には2回与える必要もあります。また、逆に湿度が高くジメジメした日は、水を与えなくてもよい場合もあります。

植物も生きていますから、その時によって要求量が違います。したがって、植物の表情や土の状態をみて、乾いたらやるようにしてください。ところがこの判断がむずかしいのです。丈夫な植物は多少水かげんを間違えても生きています。しかし、デリケートな植物では水を与えすぎれば根が腐ってしまい、たりなけれ

ば乾燥によって枯死してしまいます。

それでは、最後に水やりの原則をあげてみると①乾いたら与える。いつでもじめじめしているのはよくありません。②与えるときにはタップリと、少しずつ回数を多くするのはよくありません。③なるべく夕方には与えないこと。④夏は真昼の高温時をさける。⑤1日1回なら午前中に与える、などです。

鉢植えの植物には次のような方法を試みてはいかがでしょうか。

- ・受け皿 浅い受け皿に水を入れ、その中に鉢を入れる。
- ・二重鉢 小さな鉢は乾きやすいのでひと回り大きい鉢にすっぽり入れる。
- ・ウレタンマット 鉢の下にウレタンマットをしき、鉢が乾けばマットにしみこんだ水分が多少しみあがってくる。

ダイヤル市政案内をご利用ください

電話番号

52-1111

催し物や各種の募集、予防注射、休日当直医などを電話でお知らせしています。すでに録音してあるテープで、毎日の行事案内を流しますから、いつでも知ることができますのでご利用ください。電話番号は52-1111です。

